



顔が見えるお肉。



セブン&アイHLDGS.

株式会社 イトーヨーカ堂

2012年1月19日

流通業初！産官連携の6次産業化※新ビジネス始動！！ 東北初！『いわて遠野牛』販売開始

～現地企業と連携した加工品開発プロジェクトもキックオフ～

※ 農林漁業生産と加工・販売の一体化や、地域資源を活用した新たな産業の創出の促進

株式会社イトーヨーカ堂(代表取締役社長 最高執行責任者:亀井 淳、以下 イトーヨーカ堂)は、2012年1月25日(水)より、繁殖から販売まで一貫した体制により生産された『いわて遠野牛』を、イトーヨーカドー花巻店(岩手県花巻市下小舟渡 118-1)にて発売いたします。『いわて遠野牛』は、イトーヨーカドーのプライベートブランド(PB)「顔が見えるお肉。」において、東北地方で生産された初の黒毛和牛となります。

また、『いわて遠野牛』を原料として、ハンバーグ等の食肉加工品を製造し、イトーヨーカドー店舗等で販売(6次産業化のビジネスモデルを推進)するための開発プロジェクトも発足いたします。このプロジェクトでは、岩手県遠野市(市長:本田 敏秋、以下 遠野市)・エスフーズ株式会社(代表取締役社長:村上 真之助、以下 エスフーズ)・イトーヨーカ堂の連携三者が、遠野市の食品製造業者等と呼びかけ、遠野生まれ遠野育ちの『いわて遠野牛』を原料とした最良の食肉加工品を創出するとともに、東日本大震災により大きな被害を受けた岩手県の早期復興を支援するための、地域における新たなビジネスモデルを構築してまいります。

『いわて遠野牛』は、2011年10月の遠野市、エスフーズとの三者連携により進められてきた遠野生まれ遠野育ちのコンセプトのもと、遠野市内の農家で生産された「顔が見えるお肉。」としての初出荷商品となります。

このたびの「顔が見えるお肉。」「いわて遠野牛」の取り組みにより、イトーヨーカ堂はより一層、

- (1) 地域と連携した安全・安心な“食”の提供
 - (2) 地域資源を活用した食肉加工品の製造・販売をする新たなビジネスモデル(6次産業化)の構築
 - (3) 被災地における新規雇用の創出による復興支援と地域活性化
- を推進して、持続可能な地域産業への貢献を図ってまいります。

<エスファーム遠野外観>



<『いわて遠野牛』※イメージ>



<エスファーム遠野概要>

【商 号】	エスファーム遠野株式会社
【資 本 金】	10,000 千円
【株 主】	エスファーム株式会社 100%
【設立年月日】	2011 年 6 月 22 日
【所 在 地】	岩手県遠野市附馬牛町東禅寺 7 地割 95 番 3
【敷地 面積】	276 千㎡（東京ドーム約 6 個分）
【人 員】	19 名（予定）
【頭 数】	2,045 頭（仔牛 600、繁殖 600、肥育 800、種牛 45）

<イトーヨーカ堂およびエスファーム遠野の生産・販売スケジュール>

- 2011 年 6 月 現地法人「エスファーム遠野」（エスフーズ孫会社）設立
- 2011 年 8 月 農林水産省「6 次産業推進地域支援事業」補助金交付候補者に「エスファーム遠野」選定
- 2011 年 12 月～ 農林水産省「6 次産業化法に基づく総合化事業計画」に「エスファーム遠野」申請、認定を目指す
- 2012 年 1 月～ イトーヨーカドー花巻店にて「顔が見えるお肉。」『いわて遠野牛』販売開始（初の販売）
- 2012 年 2 月～ 岩手県遠野市にて 6 次産業化ビジネス推進のための、現地企業と連携した加工品開発プロジェクトを発足
- 2012 年 3 月～ イトーヨーカドー首都圏店舗にて「顔が見えるお肉。」『いわて遠野牛』販売開始（関東初の販売）
- 2012 年中～ イトーヨーカドーの店舗等のセブン&アイグループ各社にて食肉加工品（ハンバーグ、カレー等【予定】）の販売開始

以上